

委員会報告

総務民生常任委員会
(2月24日開催)

《調査事項》

(1) MICS事業の実施状況
について(現地調査)

石狩川流域下水道奈井江浄化センターにおいて、MICS事業の実施状況について現地調査を行った。

施設は、RC造地上1階地下1階。建築面積は、450・13㎡。延べ床面積は、872・02㎡となっている。工事費は、合計9億4585万6千円。工事は、平成27年1月28日に



し尿搬入時の計量を見学

完了した。

設備の概要は、受入槽2槽、流入調整槽2槽、夾雑物除去装置1基、破砕ポンプ3基、脱臭装置、計量機となっております。



汚泥の中の異物を取り除く装置の説明を受ける。

り、1日の受入能力は、最大86・8㎡となっている。

臭気については、周囲に臭気が漏れないよう、シャッターの開閉、脱臭装置の設置等、細心の注意を払っている。

平成26年11月よりし尿及び浄化槽汚泥の試験搬入を行っており、約30台のパキウムカーが稼働していることから、搬入をスムーズに行うため、搬入日時を指定し受入れ

を行っている。

平成27年4月の供用開始に向け、順調に事業が進められていた。



取り除いた異物の説明を受ける。

(2) 地域住民生活等緊急支援のための交付金について

平成26年12月27日、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策が閣議決定された。この閣議決定は、地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にス

ピード感を持つて的を絞った対応及びしごとづくりなど、地方が直面する構造的な課題への実効ある取組みを通じて

地方の活性化を促すことを重点としている。具体的な施策としては、地域消費喚起・生活支援型と地方創生先行型の2種類が挙げられた。

本町は、地域消費喚起・生活支援型では、町内限定のプレミアム付商品券発行事業への助成を、地方創生先行型では、若年者を対象とした定住促進事業、公営住宅の改修、ピンネ農業公社の担い手事業支援、ふるさと温泉運営費支援事業を実施することとしている。

交付金の対象となる事業は、平成26年12月27日の閣議決定後に予算計上された事業に限定されるため、定住促進事業では、新たに若年者を対象とした事業を設けている。

本町への配分上限額は、地域消費喚起・生活支援型は2014万8千円、地方創生先行型は3298万4千円となった。

なお、対象事業は、全額を繰り越し、平成27年度に実施する。

また、地方創生先行型の上乗せ交付分については、地方版総合戦略の策定状況を勘案し、後日決定される。

経済文教常任委員会

(2月23日開催)

《調査事項》

(1) みどり町有地堆雪場の利用状況について

1月27日から31日まで及び2月2日の計6日間、みどり、橋本、大和方面の排雪された雪の搬入を行ったが、作業日数は昨年と比較し、約3日短縮となった。

1日当たりの排雪経費は、ダンプ8台、警備員4人、大型ロータリー1台、タイヤドザー2台をセットとし、堆雪場のブルドーザ経費も加算した場合、約80万円となることから、約240万円の経費の削減がなされた。

昨年の菊水堆雪場へのダンプ1台当たりの運搬サイクルは、1日平均21回だったが、本年度は1日平均56回となり、1.7倍の運搬量となった。今回、みどり町有地堆雪場への総搬入量は、6日間で約2万立方メートルと推定される。